

平成28年度 大洲から「体験の風をおこそう」運動推進事業

わくわく！冬のお泊まり会

1 ねらい

宿泊型青少年教育施設である国立大洲青少年交流の家の活動プログラム等を体験することを通して、青少年の健全育成のための施設である「国立大洲青少年交流の家」についての理解を促進するとともに、「体験の風をおこそう」運動推進の機運向上を図る。

2 実施日

12月10日（土）～11日（日）

3 日程

【1日目】

13:00	14:00	17:00	17:20	17:40	19:00	20:30	
10日 (土)	受付・案内	【選択活動】 ・クライミング体験 ・ニュースポーツ体験 ・いろいろクラフト体験 ・科学のふしぎ体験 ・ミニ四駆工作体験 等	みかん ツリー 点灯式	オリエンテーシ	夕食・休憩	【選択活動】 ・星空観察 ・絵本読み聞かせ ・親子フィットネス ・人形劇鑑賞	入浴 就寝

【2日目】

6:30	9:00	12:00	13:00
11日 (日)	起床 つどい 朝食 退所点検	【選択活動】 ・かまあげうどんづくり ・ピザづくり ・竹パンづくり ・クライミング・ニュースポーツ体験	昼食 解散



4 活動場所

国立大洲青少年交流の家

5 参加対象・募集人数

小学生・未就学児の親子・家族・グループ 40組 180人程度

6 申込人数・参加者数

申し込み総数： 289グループ（323家族）、1,140名
参加者：抽選で選ばれた 44グループ（49家族） 181名
（大人76名、小学生61名、未就学児44名）

7 活動内容

- 1日目午後 クライミング体験、ニュースポーツ体験（ユニカール、ペタンク、ストラックアウト、Xロープ）、木の玉プール、むかしあそび体験、バードコールづくり、ストラップづくり、竹箸、竹食器づくり、木の实を使ったマグネットづくり、葉脈でしおりづくり、低温の科学実験、ミニ四駆工作体験等





- みかんツリー点灯式（タベのつどい特別編） 約1000個のみかんが点灯した。
- オリエンテーション 交流の家所長が、体験活動が子どもたちの成長にとって重要であること、「体験の風をおこそう」運動について、参加者に説明した。



- 1日目 夜 親子フィットネス体験、星空観察、絵本読み聞かせ、人形劇鑑賞



- 2日目午前 クライミング、ニュースポーツ体験、かまあげうどんづくり、ダンボールオーブンつかったピザづくり、竹パンづくり



2年ぶりに実施した「わくわく！冬のお泊まり会」では、宇和島山岳会、ボーイスカウト八幡浜第一団、ボーイスカウト大洲第一団、中越福重氏、全日本レクリエーションクラブ「シンク・タンク」、天晴風壬（白石大貴氏）、四国電力宇和島支店、内子手しごとミニ四駆部、トラペチウム、おはなし屋「えっちゃん」武知悦子氏、大洲人形劇サークル「ヘソ太郎」、智葉ひとみ氏、大本静誉氏等、様々な指導者に協力していただき、2日間通して様々な活動が目白押しで展開された。みかんツリー製作にあたっては、愛媛たいき農業協同組合、富士シリシア化学株式会社、まちづくりNPOイケメン連、地元の中学校、小学校、幼稚園、保育所等に協力していただいた。

宿泊型青少年教育施設である国立大洲青少年交流の家の特徴を活かし、様々な活動プログラムを体験することで、「体験活動が子どもたちの発達・成長にとって重要であること」を参加保護者に普及啓発し、大洲から「体験の風をおこそう」運動を推進する機運を向上させることができた。